

第4部会(第3回) 意見集約表(案)

資料1-1

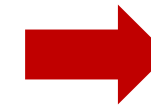
| 委員名 | No. | 素案 ページ | 区分 | 各委員からのご意見 | ➔ | 意見集約(案) |
|-------|-----|-----------|----------------------|--|---|---|
| 樋口部会長 | 1 | 73 | 重点戦略1 | 重点戦略1は、にいがた2kmに合わせて新しいものを整備していこうというふうに取り取れるのですけれども、攻める部分と守る部分が明確に分離できていないような書きぶりのように思いましたので、ご検討いただけたらと思います。 | | 重点戦略1について、「学べる」「自分らしく働ける」「遊べる」などといった観点に加え、安心して暮らせるという視点も記載してはどうか。 |
| 原田委員 | 2 | 73 | 重点戦略1 | 戦略展開の方向の冒頭のところで、学べる、自分らしく働ける、遊べる、楽しめる、刺激があると。ただ、安心して暮らせるという視点がないなと思って、その辺も考えていただけたらなと思います。 | | |
| 鈴木委員 | 3 | 73 | 重点戦略1 | 安心して暮らせるというのが自分も大事だなと思っています。ぜひこれも一緒に入れてもらいたいと思います。 | | |
| 高橋委員 | 4 | 73 | 重点戦略1 | 新潟駅周辺整備が新潟市の日本海側拠点都市としての魅力発信の絶好の機会である。新潟駅から新潟空港までのアクセスといった面で、より利便性を高め、ほかの対策も含めて検討に入るとした内容を、入れることはできないのか。 | | |
| 五十嵐委員 | 5 | 179 | 政策13 防災・消 防・救急 | 政策指標「B.日頃から災害に対する備えをしている市民の割合」は漠然としすぎているので、例えば避難訓練をしているかどうかとか、防災用具を揃えているかどうか、企業であればBCPを作っていくのかという何か補助的な指標が必要ではないのかなと思うのです。 | | 政策指標「B.日頃から災害に対する備えをしている市民の割合」について、漠然としているため、具体的な指標が必要ではないか。 |
| 五十嵐委員 | 6 | 182 | 政策14 まちづくり | 「特徴を踏まえた住宅性能の維持・向上」にZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)LCCM(ライフ・サイクル・カーボン・マイナス住宅などの導入を推進していきます。と入れてはどうか。住宅関係の温暖化対策は重要な柱であり具体的な事例を入れたほうが良い。 | | 住宅関係の温暖化対策として、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)LCCM(ライフ・サイクル・カーボン・マイナス)といった施策を記載してはどうか。 |
| 五十嵐委員 | 7 | 182 | 政策14 まちづくり | 都心部での緑の不足というところですが、この辺は東京や大都会の中では屋上緑化や壁面緑化といった緑化のやり方が取られているということもありますので、そういうものを取り入れるという方向性を入れていってもいいのではないかと思います。 | | 都心部での緑について、屋上緑化や壁面緑化といった手法を記載してはどうか。 |
| 五十嵐委員 | 8 | 183 | 政策14 まちづくり | ①「コンパクトなまちづくりの推進」の「都市と田園・自然が調和・共存」を「調和・共生」としてはどうか。単に共存するのではなく共生が必要。 | | 都市と田園・自然が「調和・共存」という表現について、「調和・共生」としてはどうか。 |

| 委員名 | No. | 素案 ページ | 区分 | 各委員からのご意見 |
|-------|-----|-----------|---------------|---|
| 和田委員 | 9 | 183 | 政策14 まちづくり | 小型バスやタクシーを組み合わせ、というくだりについて、民間事業者にお願いする部分もあると思いますが、PFS・SIB(成果連動型民間委託契約)みたいな仕組みやアイデアもあっていいかと思いました。 |
| 清野委員 | 10 | 183 | 政策14 まちづくり | 鉄道駅におけるという記載について、エレベーター設置は、住民にとってとても暮らしやすいことだと思います。ユニバーサルデザインに含まれると思うのですけれども、エレベーター設置という言葉を入れたほうがいいのではないかと思います。 |
| 五十嵐委員 | 11 | 184 | 政策14 まちづくり | 建て替えが新潟駅前で行われているので、大規模な建築物の上には太陽光パネルを設置してもらうというような形で、エネルギーの自給を取り入れていくということを入れては、と思っております。 |
| 須野原委員 | 12 | 184 | 政策14 まちづくり | 災害時のBCP確保などから見ると、耐震能力の向上、強化というものを含めて、港湾機能の強化というところに少し書いていただけたほうがいいのかと。例えば、耐震性の向上などの港湾機能の強化とかというような形にさせていただく。 |
| 樋口部会長 | 13 | 185 | 政策14 まちづくり | 木造が密集していると、火災の危険性が非常に高く、地震のときの火災も連動しています。非木造を適切に入れていくことや、空地を適切にバランスよく配置するようなことで延焼を止めることは可能。空き家の解消等も絡めて、木造密集地の火災対策をご検討されたほうがいいのかと思います。 |
| 大谷委員 | 14 | 185 | 政策14 まちづくり | 空き家問題への対策として、ポスターやDVDを使用した啓発事業について、8区全体を包含した新潟市全体の事業として取り組むとか、空き家バンクを視野に入れるとか、より具体的な空き家対策をもう少し明確にする必要があるのではないかと思います。 |
| 大島委員 | 15 | 186 | 政策14 まちづくり | 政策指標「C.平均地価変動率」に違和感があり、商業地としての集積を図り、それによって賑わい、回遊性等を創出していくということがメインであるならば、例えば、都心エリアにおけるオフィス空室率や就業者、従業者の数とか、ほかの指標もあるのではないかと。 |
| 原田委員 | 16 | 186 | 政策14 まちづくり | 政策指標「D.緑が増えたと思う市民の割合」について、対象によって答えが変わってくるので、客観的指標のほうがいい。壁面緑化率などで立体的に把握し、定量的なデータを取るの本来はいいのではと思う。 |
| 大島委員 | 17 | 186 | 政策14 まちづくり | 政策指標「D.緑が増えたと思う市民の割合」について、屋上緑化によって緑は増えていても、市民が増えたと思っていない、という結果にならないよう、客観的な数値での指標というものをサブの指標のような形で設定していただくのはどうか。 |



| 意見集約(案) |
|---|
| 小型バスやタクシーなど民間事業者との連携について、PFS・SIB(成果連動型民間委託契約)といった手法を検討してはどうか。 |
| 鉄道駅の整備について、エレベーター設置は住民にとって暮らしやすさの向上につながるため、「エレベーター設置」と明確に記載してはどうか。 |
| 都心部の再開発について、建築物に太陽光パネルを設置してもらうといった、エネルギーの自給について記載してはどうか。 |
| 港湾について、災害時のBCP確保という観点から、耐震性の向上・強化を記載してはどうか。 |
| 空き家対策に加えて、木造密集地の火災対策(非木造や空き地の配置など)を記載してはどうか。 |
| 空き家対策について、啓発事業や空き家バンクといった具体的な対策を記載してはどうか。 |
| 政策指標「C.都心エリアの平均地価変動率」について、オフィス空室率や従業員数など、商業地としての集積や賑わいを測る指標にしてはどうか。 |
| 政策指標「D.都心部で以前と比べ緑が増えたと思う市民の割合」について、壁面緑化を含めた緑被率など客観的な指標にしてはどうか。 |

| 委員名 | No. | 素案 ページ | 区分 | 各委員からのご意見 |
|-------|-----|-----------|--------------|--|
| 樋口部会長 | 18 | 188 | 政策15 インフラ | 老朽管延長のグラフについて、かなりの勢いで増加しようとしていて非常に厳しい状況だと書かれながら、190ページには対策が書いてあるのですが、市民の皆さまからすると、厳しい状況だけでもこうやっていったら大丈夫だよという内容のほうが、安心されるかなと。 |
| 須野原委員 | 19 | 188 | 政策15 インフラ | 市が管理している下水道管の延長は3,800キロくらいあるということで、全体をきちんと書いたうえで、その内100キロメートルがと書かれたほうが、市民の方というか、見た人が分かりやすいのではないのでしょうか。 |
| 五十嵐委員 | 20 | 190 | 政策15 インフラ | 「雨に強いまちづくりと耐震化・耐水化の推進」のなかに「流域治水として田んぼの遊水地(田んぼダム)などにも取り組み、水害の防除を地域で推進します」を入れるなど、新潟市らしい流域治水の考え方というものはどこかに入れていかなければいけないのではないかと。 |
| 和田委員 | 21 | 191 | 政策15 インフラ | 政策指標「A.道路が適切に整備・管理されていると思う市民の割合」は、整備率みたいところで定量的にしたほうがいいのかもしいかなと思います。 |
| 五十嵐委員 | 22 | 191 | 政策15 インフラ | 政策指標「A.道路が適切に整備・管理されていると思う市民の割合」は、市民は道路がどれだけ適切に管理されているかということを理解するのは難しいと思うので、インフラの設置年数と修繕度合いの割合とか、定数的な指標のほうがいいのかないかなと思います。 |
| 原田委員 | 23 | 191 | 政策15 インフラ | 政策指標「B.年間断水・濁水時間」は現状、目標もゼロで、適切な指標なのかなと。例えば、ダウンサイジングをすることを、きちんとうまくできたということを示すようなものがあつたらいいのかなと思いました。 |
| 五十嵐委員 | 24 | 196 | 政策16 環境 | 災害時における廃棄物処理について考えておくべきではないか。特に洪水の被害に遭いやすい地域においては、廃棄物の一時保管場所を事前に確保しておくことは重要ではないかと思っております。 |
| 五十嵐委員 | 25 | 197 | 政策16 環境 | せつかくラムサール条約湿地の自治体認証をいただいているわけなので、これをしっかりと打ち出していくことは極めて重要なことではないかと思っております。 |



| 意見集約(案) |
|--|
| 下水道施設の課題や厳しい状況について、市民が安心できるように表現した方がよいのでは。 |
| 下水道管渠について、総延長を記載したほうが分かりやすいのでは。 |
| 水害対策として、新潟市らしい流域治水(田んぼの遊水地など)の考え方を記載してはどうか。 |
| 政策指標「A.道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合」について、整備率や修繕度合いなどといった定量的・定数的な指標にしてはどうか。 |
| 政策指標「B.一人当たり年間平均断水・濁水時間」について、ダウンサイジングの進捗などを測れるような指標にしてはどうか。 |
| 災害時の廃棄物について、一時保管場所の確保といった対策を記載してはどうか。 |
| ラムサール条約湿地の自治体認証を打ち出していくことは重要ではないか。 |